

株主のみなさまへ

第190期 期末報告書

(2015年4月1日～2016年3月31日)

おかげさまで135周年
135
Toward Next Stage!
日本ペイントホールディングスグループ



表紙写真：ケルン大聖堂(当社ドイツ子会社 Bollig & Kemper 本社所在地)



豊かな心で 未来をひらく
日本ペイントホールディングス株式会社

Basic & New

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。日本ペイントホールディングス代表取締役社長 田堂哲志でございます。

当社は2015年4月からグローバル市場において、世界トップの塗料メーカーと伍して戦う「グローバルペイントメジャー」となることをめざし、中期経営計画「サバイバル・チャレンジ（以下SC）ステージⅢ」をスタートいたしました。「SCステージⅢ」では、グローバル規模での事業拡大・新市場の創出や、これらの取り組みを適切に監督するためのコーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでおります。当社グループを取り巻く環境を見ますと、中国経済の減速など厳しい状況が続きますが、外部環境が大きく変化するなかでも確実な成長を続ける堅牢な経営体質を持った企業となることをめざしております。

2015年度の当社グループの業績につきましては、前年度のアジア地域の合併会社の持分取得（以下、子会社化）に伴い、連結売上高は5,357億円（前期比105.6%増）となりました。連結営業利益は、子会社化の影響と、それに伴うのれんおよび無形固定資産の償却費用を販売管理費に計上した結果、713億円（前期比111.4%増）、連結経常利益は746億円（前期比51.4%増）となりました。また、前年度は子会社化に

伴い、特別利益として段階取得に係る差益1,488億円を計上したこともあり、親会社株主に帰属する当期純利益は、300億円（前期比83.5%減）となりました。

<増配のご報告>

当社は、当期の中間配当より、IFRS（国際財務報告基準）ベースで株主のみなさまに対する配当金額を決定する方針※とし、期末配当金につきましても、予想値を11円/株から15円/株と引き上げさせて頂きました（2015年11月6日発表）。この度、当期の業績を踏まえ、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするため、期末配当金をさらに増配し、20円/株とさせて頂きます。これにより、当期の中間配当金（15円/株）を含めた年間配当金は35円/株となりました。

※ 「のれん」の償却額を加えた業績に基づき、株主のみなさまへの配当金額を決定する方針といたしました。なお、IFRSの適用は2018年度の有価証券報告書より予定しております。

<グローバルビジネスの拡大>

中国を含むアジアの成長市場では、中国経済の減速のなかでも売上高は前期比10%以上となるなど確実な成長を続けておりますが、さらなるグローバル事業の拡大に向け、インドや欧州、中南米にも事業基盤の

構築を進めております。インドでは、同国第2位の売上高を誇るBerger Paintsとの戦略的提携領域を拡大させました。欧州では、自動車用塗料市場に向けた供給体制を整備し、フランスやドイツの自動車メーカー様の欧州工場への参入を果たすことができました。一方、メキシコやブラジルでも供給体制の整備を進めており、今後もグローバル塗料市場においてその成長を取り込み、企業価値を高めてまいります。

おかげさまで当社グループは今年3月に創業135周年を迎えることができましたが、私の使命は、「グローバルペイントメジャー」をめざし当社の価値を高め続けていくことだと認識しております。塗料が生み出す豊かな意匠・色彩は、人々の気持ちをわくわくさせたり、和ませたりする素晴らしい機能を持っています。さまざまな色彩が塗料で彩られている世界を訴求しながら、自ら掲げた決意を完遂したいと考えております。

今後もさらなる成長をめざし、株主のみなさまのご期待に沿えるよう誠心誠意取り組んでまいりますので、今後も長きにわたり一層のご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

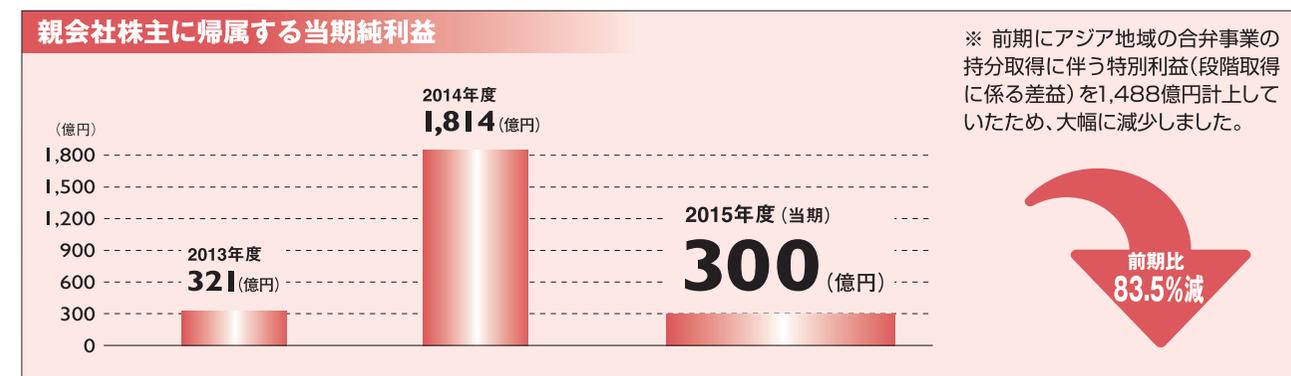
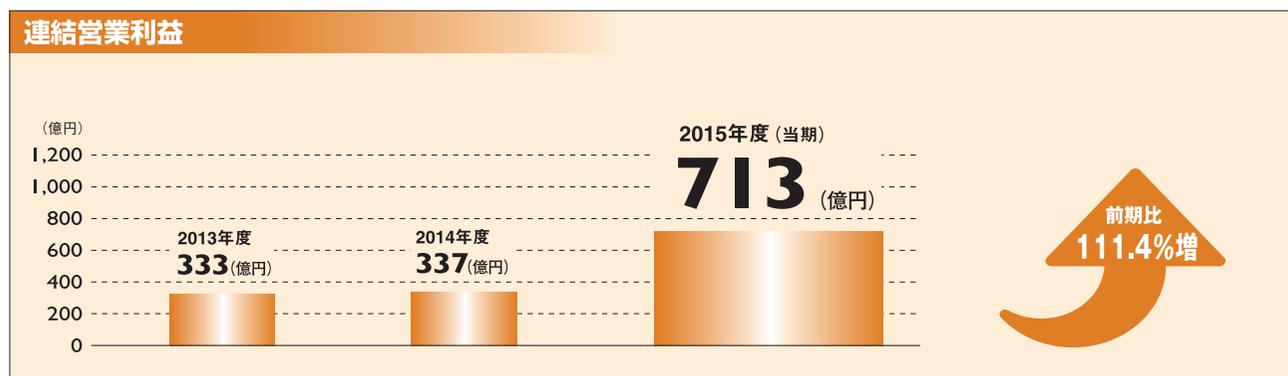
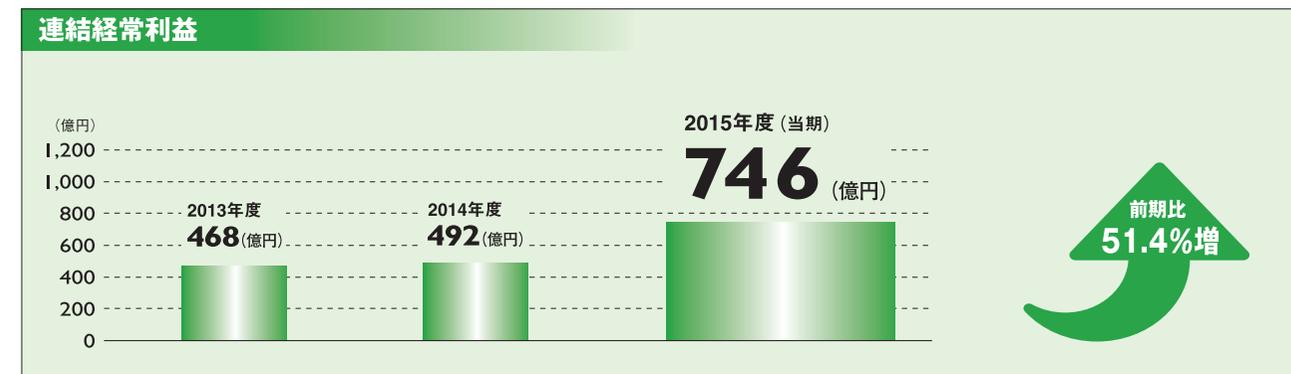
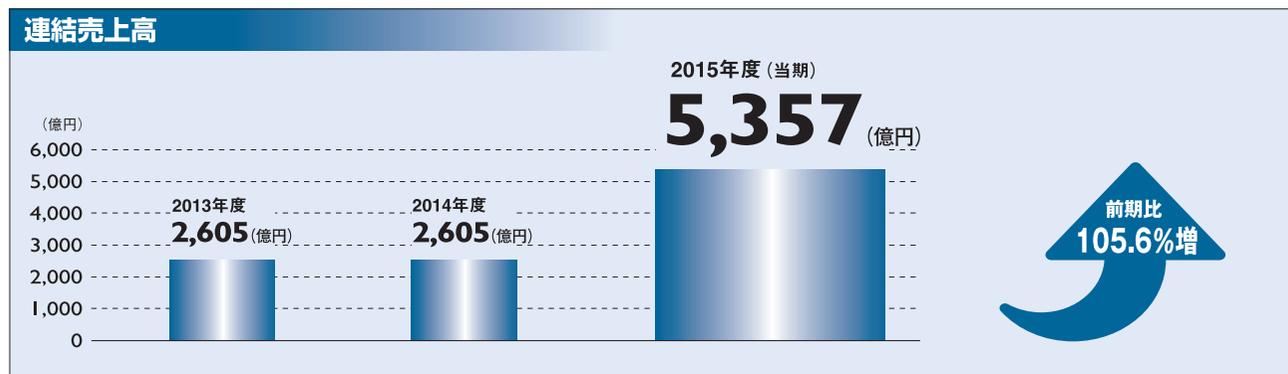
田堂哲志



当社歴史館にて撮影

2015年度 KEY POINTS 売上高・営業利益・経常利益、年間配当金は過去最高に

(単位:億円 単位未満切捨表示)



連結 (単位:億円 単位未満切捨表示)

| 科目 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度(当期) |
|--------------|---------|-----------|------------|
| 連結売上高 | 2,605 | 2,605 | 5,357 |
| 連結営業利益 | 333 | 337 | 713 |
| 連結経常利益 | 468 | 492 | 746 |
| 連結当期純利益※1 | 321 | 1,814 | 300 |
| 総資産 | 3,240 | 8,107 | 7,914 |
| 純資産 | 2,077 | 5,899 | 5,677 |
| 1株あたり当期純利益※2 | 122円47銭 | 650円4銭 | 93円61銭 |
| 1株あたり純資産 | 746円25銭 | 1,496円16銭 | 1,464円06銭 |

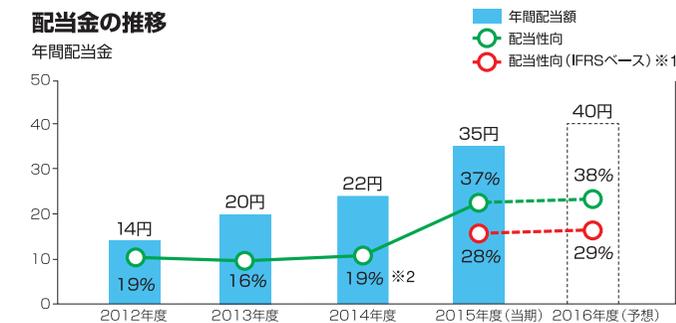
※1 “親会社株主に帰属する当期純利益”のこと。 ※2 “1株あたり当期純利益”は、当期純利益を期中平均株式数(自己株式数を除く)で除して算出。

次期年間配当金は過去最高の40円に

当社グループは、株主のみならずへの利益還元を事業拡大に向けた成長投資とともに経営の重要課題の一つと認識しており、確固たる収益体質の強化、および事業基盤の拡大に努めております。この方針のもと、当期の1株あたりの期末配当金を20円とし、年間配当金を期初予想値より1株あたり13円増配の35円とさせていただきます。

なお、次期(2016年度)の1株あたりの配当予想については中間配当金20円、期末配当金20円とさせていただきます。

※1 2015年度の中間配当からIFRSベースの当期純利益から配当額を算出
 ※2 2014年度の配当性向はアジア地域の合併事業の持分取得に伴う特別利益1,488億円を除き算出



地域別セグメントの状況

(単位:億円 単位未満切捨表示)



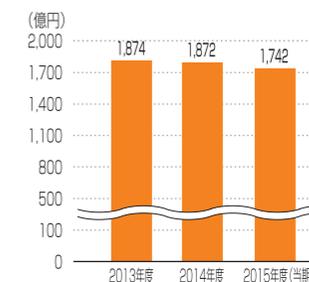
当期の概況

日本

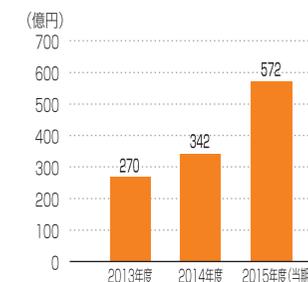
自動車生産台数が減少するなか、シェア拡大に努めた結果、自動車用塗料の売上高は前期並となりました。工業用塗料については、市況の低迷に伴い建築資材や建設機械向け塗料の出荷が減少したことなどから、売上高は前期を下回りました。汎用塗料の売上高は、市況が低調に推移するなか、新製品の拡販を含め販売促進活動に努めた結果、前期を上回りました。これらにより、当地域セグメントの連結

売上高は1,742億円(前期比6.9%減)となりました。また、連結営業利益には、2014年10月1日から持株会社に移行したことに伴い、海外グループ会社からの受取配当金(281億円)を計上していることや、継続的な原価低減活動により、連結営業利益は572億円(前期比67.3%増)となりました。なお、この受取配当金は内部取引として全額「セグメント間取引消去その他の調整額」として消去しております。

■ 売上高



■ 営業利益 ※1



(注) 営業利益には、セグメント間取引消去その他の調整額を含めておりません。

※1 2014年度の営業利益から、海外グループ子会社からの受取配当金を含めております。

アジア

前年度のアジア地域の合併会社の持分取得(子会社化)に伴い売上高・営業利益が大幅に増加しました。特に、アジアセグメントの中核地域である中国において、住宅内装用塗料などの汎用塗料の売上高が堅調に推移しました。一方で、子会社化に伴い、持分法投資利益は減少しました。

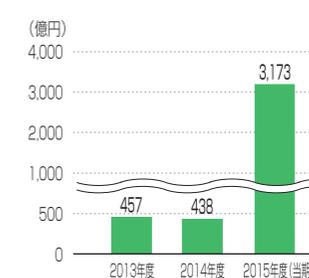
(前期比733.3%増)、持分法投資利益は12億円(前期比91.5%減)となりました。



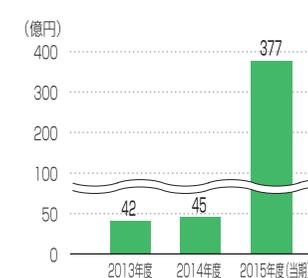
中国上海・現地法人

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は3,173億円(前期比623.5%増)となり、連結営業利益は377億円

■ 売上高



■ 営業利益



米州 ※2

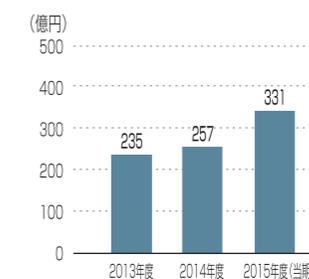
当地域における自動車生産台数が増加したことなどから、売上高は増加しました。また、ドル高(円安)による日本からの輸入原材料費の低下を含め、継続的な原価低減活動により、収益性が大幅に改善しました。

その結果、当地域セグメントの連結売上高は331億円(前期比28.5%増)に、連結営業利益は51億円(前期比92.8%増)となりました。

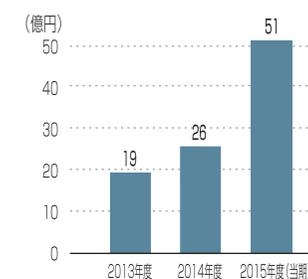


メキシコ工場

■ 売上高



■ 営業利益



※2 当期より報告セグメントの名称を「北米」から「米州」に変更し、ブラジル現地法人の事業活動を「その他」から「米州」に移管しています。

財務諸表(連結)

■ 連結貸借対照表の要旨

| 科目 | 前期 | 当期 |
|---------------|----------------|----------------|
| | 2015年3月31日現在 | 2016年3月31日現在 |
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 341,736 | 359,646 |
| 固定資産 | 468,991 | 431,812 |
| 有形固定資産 | 100,930 | 104,300 |
| 無形固定資産 | 318,073 | 283,231 |
| 投資その他の資産 | 49,987 | 44,280 |
| 資産合計 | 810,727 | 791,459 |

Point 1

《資産状況》

総資産は前期末に比べ192億円減少して7,914億円となりました。このうち流動資産は179億円増加しておりますが、その主な要因は、現金及び預金が増加した一方で有価証券が減少したことによるものです。固定資産は371億円減少しておりますが、その主な要因は、企業結合に関する会計基準等の適用および償却によるのれんの減少や投資有価証券の減少があった一方で、有形固定資産が増加したことによるものです。

(単位:百万円 単位未満切捨表示)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|-----------------|----------------|----------------|
| | 2015年3月31日現在 | 2016年3月31日現在 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 166,977 | 173,568 |
| 固定負債 | 53,826 | 50,141 |
| 負債合計 | 220,804 | 223,710 |
| (純資産の部) | | |
| 純資産合計 | 589,923 | 567,748 |
| 負債・純資産合計 | 810,727 | 791,459 |

Point 2

Point 2

Point 2

《負債・純資産状況》

負債は前期末に比べ29億円増加して2,237億円となりました。その主な要因は、有利子負債が増加した一方で仕入債務が減少したことによるものです。非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ221億円減少して5,677億円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、企業結合による会計基準等の適用により資本剰余金が減少したことに加え、為替換算調整勘定が減少したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は59.2%から59.3%となりました。

■ 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円 単位未満切捨表示)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自2014年4月1日 至2015年3月31日 | 自2015年4月1日 至2016年3月31日 |
| 売上高 | 260,590 | 535,746 |
| 売上原価 | 168,039 | 312,402 |
| 販売費及び一般管理費 | 58,798 | 151,991 |
| 営業利益 | 33,751 | 71,352 |
| 営業外収益 | 18,273 | 8,051 |
| 営業外費用 | 2,754 | 4,796 |
| 経常利益 | 49,271 | 74,606 |
| 特別利益 | 148,885 | 330 |
| 特別損失 | 286 | 915 |
| 税金等調整前当期純利益 | 197,869 | 74,022 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12,165 | 23,710 |
| 法人税等調整額 | 1,814 | △189 |
| 当期純利益 | 183,889 | 50,500 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 2,412 | 20,480 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 181,477 | 30,020 |

Point 3

Point 4

Point 3

Point 4

《損益計算書》

前年度のアジア地域の合併会社の持分取得(子会社化)に伴い、連結売上高は5,357億円(前期比105.6%増)となりました。連結営業利益は、合併会社の持分取得の影響と、それに伴うのれんおよび無形固定資産の償却費用を販売管理費に計上した結果、713億円(前期比111.4%増)、連結経常利益は746億円(前期比51.4%増)となりました。また、前年同期に上記子会社化に伴い特別利益として段階取得に係る差益1,488億円を計上したこともあり、親会社株主に帰属する当期純利益は300億円と前期比83.5%減となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円 単位未満切捨表示)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|----------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自2014年4月1日 至2015年3月31日 | 自2015年4月1日 至2016年3月31日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 34,419 | 63,101 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △86,966 | △5,308 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 85,298 | △24,699 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,818 | △3,524 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 34,569 | 29,569 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 43,787 | 78,702 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 346 | — |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 78,702 | 108,271 |

《キャッシュ・フロー計算書》

営業活動により631億円の収入、投資活動により53億円の支出、財務活動により246億円の支出があり、この結果、現金及び現金同等物は前期末より295億円増加し、1,082億円となりました。

■ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計期間(自2015年4月1日 至2016年3月31日)

| | 株 主 資 本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 78,862 | 78,338 | 314,743 | △6,432 | 465,513 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | — | △14,886 | 3,008 | — | △11,877 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 78,862 | 63,451 | 317,752 | △6,432 | 453,635 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | — | — | — | — | — |
| 剰余金の配当 | — | — | △8,659 | — | △8,659 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | — | — | 30,020 | — | 30,020 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △7 | △7 |
| 自己株式の処分 | — | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | — | — | — | — | — |
| 当期変動額合計 | — | — | 21,360 | △7 | 21,353 |
| 当期末残高 | 78,862 | 63,451 | 339,113 | △6,439 | 474,989 |

(単位:百万円 単位未満切捨表示)

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 新株 予約権 | 非支配 株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|-------------|--------------|------------------|-------------------|-----------|-------------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括 利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 12,218 | 13 | 4,307 | △2,224 | 14,316 | — | 110,094 | 589,923 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | — | — | — | — | — | — | — | △11,877 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 12,218 | 13 | 4,307 | △2,224 | 14,316 | — | 110,094 | 578,046 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 新株の発行 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 剰余金の配当 | — | — | — | — | — | — | — | △8,659 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | — | — | — | — | — | — | — | 30,020 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | — | — | — | — | △7 |
| 自己株式の処分 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △5,140 | △14 | △13,841 | △775 | △19,772 | 39 | △11,918 | △31,651 |
| 当期変動額合計 | △5,140 | △14 | △13,841 | △775 | △19,772 | 39 | △11,918 | △10,297 |
| 当期末残高 | 7,078 | △0 | △9,533 | △3,000 | △4,455 | 39 | 98,176 | 567,748 |

■ 決算期の変更

2016年6月28日
第191回定時株主総会

| | 2015年 | | | | 2016年 | | | | 2017年 | | | |
|----|-------|------|------|--------|-------|------|------|--------|-------|------|------|--------|
| | 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 |
| 国内 | 12ヶ月 | | | | 9ヶ月 | | | | 12ヶ月 | | | |
| 海外 | 12ヶ月 | | | | 12ヶ月 | | | | 12ヶ月 | | | |

2017年度スタート

2016年6月28日開催予定の第191回定時株主総会における議案「定款一部変更の件」において、決算期を3月31日より12月31日に変更することをご承認いただきました。海外事業の拡大、経営情報の適時・的確な開示による経営の透明性の向上をはかるため、また、2018年度の有価証券報告書より適用を予定している国際財務報告基準(IFRS)に対応するためのものです。なお変更により、2016年度における3月期決算会社の連結会計期間は、2016年4月1日から12月31日までの9ヶ月間となります。

個人投資家様向けサイトがオープンしました▶▶▶▶▶

2016年4月1日に当社ホームページのコンテンツを拡充し、個人投資家様向けサイトをオープンしました。

世の中の様々なところで貢献している当社の塗料や、業績などをできるだけ分かりやすくご理解いただくためのコンテンツを用意しております。

みなさまも是非一度ご覧いただければと思います。



世界で役立つ“日本ペイント”

塗料や塗装という枠におさまりきらない“日本ペイントグループ”の事業。世界中で“暮らしを彩り”、社会に貢献する私たちの事業についてご紹介いたします。

投資家情報 Investor Relations

数字で知る“日本ペイント”

01 創業年 **1881年**

02 売上高 **5,357億円**
2016年3月期

創業135周年を迎えた“日本ペイント”。その歴史は、1881年に創業者 茂木重次郎が洋式塗料の国産化をこころざし、自社の前身である光明社を設立したことに始まります。以降“日本ペイント”は、種々の困難を乗り越え、世界でも屈指の塗料メーカーに成長しています。

もっと詳しく >

- ◆個人投資家様向けサイト
URL:<http://www.nipponpaint-holdings.com/ir/personal>
- ◆また、当サイトに関するご意見ご感想もお待ちしております。
メールアドレス: ir_kouhou@nipponpaint.jp

塗料から塗装、表面処理まで。技術の“深さ”と“広さ”を活かし、活動領域を世界へ広げています。

自動車を鮮やかに彩る自動車用塗料をはじめ、住宅を彩る汎用塗料など、社会のあらゆる場面で活躍する「塗料事業」、金属やプラスチックの表面に防錆性などの機能を付与する表面処理の「ファインケミカル事業」。当社グループは、この2つの事業を通し世界中のお客様に満足と感動を届けています。

Our Business Field

グローバルペイントメジャーをめざし、アジア・北米・欧州、そして南米にも活躍の場を広げています。

海外売上高比率 **67.5%***

自動車用塗料

自動車の製造工程において必要とされる塗料を一貫して提供できる体制を整えています。また、ユーザーの要望に応え、自動車ボディ用の遮熱塗料を開発するなど、より付加価値の高い塗料の開発に取り組んでいます。アジア・北米だけでなく、中南米など、需要が高まる新興国市場への進出も推進しています。



汎用塗料

戸建て住宅・マンション・高層ビルなどの建築用塗料や橋梁・タンクなどの重防食塗料を提供する汎用塗料。施工現場の省工程化に適應する塗料や、高速道路や橋梁など老朽化するインフラの長寿命化や保全に貢献する塗料を開発しています。特に、中国で展開する“立邦塗料”はトップブランドとして認知されています。



工業用塗料

工業用塗料は、建設機械、農業機械、住宅外装用建材、オフィス機器、家電製品をはじめ、最新型の鉄道車両など、多岐にわたる工業分野において広く使われています。建築物の屋根や路面用の遮熱塗料、環境にやさしい粉末塗料など、総合塗料メーカーの強みを活かし、あらゆる工業分野へ高機能塗料を届けています。



その他塗料

造船・海運業界に貢献する船舶用塗料や、環境負荷低減・作業効率向上を実現する自動車補修用塗料、豊富な製品群を展開する家庭用塗料など、あらゆる場面で塗料を提供しています。また、住宅内装用ペイントブランド「ROOMBLOOM」を立ち上げ、新市場を創造するなど、塗装文化の普及にも取り組んでいます。



ファインケミカル事業

塗装の前工程として、金属やプラスチックの表面に防錆性などの機能を付与する表面処理を始め、異素材の接着・接合を実現するファインケミカル事業。普段何気なく飲んでいる飲料缶や、エアコンのフィンにも、当社グループの表面処理剤が使われています。塗料の開発で培った技術を生かし、先進的な製品を届けています。



TOPICS

2015年度 日本ペイントホールディングス グループの活動

ドイツB&Kの完全子会社化・ フォルクスワーゲン本社工場に参入

当社グループは、中国で展開する欧州系の自動車メーカーに参入すべく2008年に中国・上海で、ドイツの自動車用塗料メーカー、Bollig & Kemper (以下B&K)との合弁販売会社を設立し、期初の目標通り欧州系への参入を果たし、順調に売上高を拡大してきました。

その後、B&Kへの出資比率を2013年に39%、2015年に51%と段階的に高め、2016年1月には完全子会社としました。

当社グループの関与を深める過程で、競争力のある供給・サービス体制を整備し、またB&Kの技術・営業スタッフの積極的な推進により、2015年5月には当社グループとして初めてフォルクスワーゲン本社・ヴォルフスブルク工場の電着(防錆)塗装ラインに納入を開始することができました。

立ち上げにあたっては、これまで納入経験のない欧州自動車メーカーの電着塗装ラインでの様々な課題を、日本からのサポートと当社グループの総合力を発揮することにより解決し、安定稼働に成功しました。

欧州地域で固定化されつつあった電着塗料市場に“新たなサプライヤー”として参入を果たしたことで、当社グループのプレゼンスを高めることができました。



当社中国子会社 立邦塗料初の 「機関投資家向け事業説明・見学会」を開催

2016年1月13日、中国・上海は立邦塗料にアナリスト・機関投資家18名を迎え、初の「事業説明・見学会」を開催しました。当社の連結業績に占める中国事業の重要性により、かねてから「現地を見たい」との強い要望が寄せられ立邦塗料の支援のもと、開催する運びとなりました。参加されたアナリストによると国内での説明会と違い、海外での説明会に20名近く参加されるということは当社規模の会社としては非常に多く、関心の高さを伺わせる、とのことでした。

当日は、主力事業である汎用塗料を中心とした事業概要や、積極的に推進中のCSR活動の紹介の後、上海市内の立邦塗料製品を扱う販売店や、塗り替えをもっと身近に感じてもらう目的で2014年9月に第1号店として開設された「塗り替え体験店」を訪問。また、上海だけでも連日500件近い物件が塗り替え中とのことで、その中の1つにお邪魔して、実際に住宅内装の塗り替え現場を視察しました。

イベント後に出された「アナリストレポート」では、人材やブランド力で他社を圧倒し、成長を続ける立邦塗料に対しポジティブな言及がなされ、圧倒的な強さを誇る<立邦ブランド>に対する理解を深めて頂く格好の機会となりました。



「化学の日 子ども化学実験ショー2015」 に出展

当社グループは2015年10月24日・25日に京セラドーム大阪で開催された「化学の日 子ども化学実験ショー2015」に出展しました。子ども化学実験ショーは、小学生とその保護者を対象に、化学の面白さや不思議さなどを知って貰うための化学実験の無料体験イベントです。

当社グループは以前より東京で開催される「夏休み子ども化学実験ショー」に出展していましたが、今回はじめて東西両方の地区で出展いたしました。40名近い社員がスタッフとして参加し、2日間で約300人の子どもたちとその保護者の方々に、カラー電着塗装の実験をしました。「また来年もきたい!」と喜んでくれた子どもたちや、ともすれば子どもたちよりも熱心に説明に聞き入る保護者の方々の参加により、素晴らしいイベントになりました。

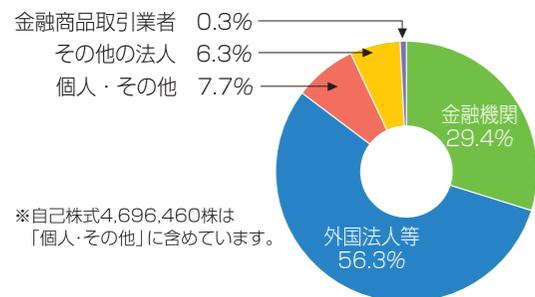


株式状況

(2016年3月31日現在)

発行可能株式総数 1,000,000,000株
 発行済株式の総数 325,402,443株
 株主数 12,044名

所有者別分布状況 (株式数比率)



※自己株式4,696,460株は「個人・その他」に含めています。

大株主 ※1

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|-------------|-------------|
| NIPSEA INTERNATIONAL LIMITED | 126,906 | 39.57 |
| N A T I X I S | 12,357 | 3.85 |
| 日本生命保険相互会社 | 10,817 | 3.37 |
| 住友生命保険相互会社 | 10,750 | 3.35 |
| 株式会社三井住友銀行 | 9,999 | 3.11 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 7,133 | 2.22 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 7,053 | 2.19 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 6,982 | 2.17 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口 | 5,109 | 1.59 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 605223 | 4,509 | 1.40 |

※1 当社は、自己株式4,696,460株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。
 ※2 持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨てております。
 ※3 NIPSEA INTERNATIONAL LIMITEDは、ゴウ・ハップジン氏が代表を務めるWUTHELAM HOLDINGS LTD.の100%子会社です。

日本ペイントホールディングス株式会社

(2016年3月31日現在)

本 社 〒531-8511 大阪市北区大淀北 2-1-2
 TEL 06-6458-1111
 創 業 明治14年(1881年)3月14日
 資 本 金 788億6千2百万円
 主要な事業内容 グループ戦略立案および各事業会社の運営

役員 (2016年6月28日現在)

| | |
|-------------|----------|
| 取締役会長 | 酒井 健二 |
| 代表取締役社長 | 田 堂 哲志 |
| 代表取締役専務執行役員 | 西 島 寛治 |
| 取締役上席執行役員 | 南 学 |
| 取締役 | ゴウ・ハップジン |
| 社外取締役 | 松 本 岳 |
| 社外取締役 | 三 品 和 広 |
| 常勤監査役 | 金 倉 顕 博 |
| 常勤監査役 | 川 邊 統 也 |
| 社外監査役 | 清 水 正 裕 |
| 社外監査役 | 高 橋 司 |
| 社外監査役 | 生 沼 寿 彦 |

株主メモ

| | |
|--------------|---|
| 事業年度 | 1月1日から12月31日 (2016年度は4月1日から12月31日まで) |
| 期末配当金受領株主確定日 | 12月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 6月30日 (2016年度は9月30日) |
| 定時株主総会 | 3月中 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |
| 同 連 絡 先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |
| 公 告 方 法 | 電子公告により行う。 http://www.nipponpaint-holdings.com/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、当社定款規定に従い三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

当社ホームページのご案内

投資家情報ページのご案内

詳細な財務情報や企業情報に関しては、投資家情報ページをご参照ください。

4月1日より
個人投資家様向けサイトがオープン!!

詳細は、P9~P10をご参照ください。



投資家情報ページ

<http://www.nipponpaint-holdings.com/>

日本ペイントホールディングス 検索